

富士吉田地域について

“ここにはいつも富士がある”

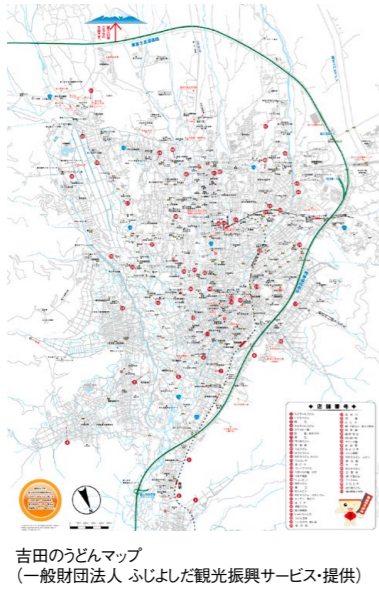
富士吉田教育部 天野 弘美

江戸の昔から、ここは織物の街といわれてきました。私が子供のころまでは、街中を歩くと至るところでガチャッガチャッと機織り機の音が聞こえたものです。今ではずいぶん減ってしまいましたが、それでも脈々と伝統は続いています。富士吉田の織物(郡内織物といえます)は糸を先に染める先染めという技法が主流だそうです。それは富士山から湧き出るきれいで豊かな水が、糸の発色に良く染色に適していたからといわれています。

昭和の中頃「ガチャッとひと織りすれば1万円儲かる(ガチャ万)」といわれ景気の良い時代がありました。機織りは、そのほとんどが家内工業で主な働き手は女性でした。現在の名物「吉田のうどん」が誕生したのは、昼食の準備で機織りの手を止めないように男性が代わりにお昼にうどんをつくるようになったからといわれます。男性が打つから硬くてコシのある独特のうどんになったとか。また、御師の家で富士山信仰のための富士講の人々が白いうどんを食べて身を清めてから登山したというのがうどん文化のルーツという説もあります。

それから、富士吉田で独自の地図ではないでしょうか。地図は北を上にして描くものだと私も学校で教わりました。しかし、ここは富士山中心の街なので、富士山は富士吉田の南に位置していますが、断然富士山を上を描きます。通常の地図とは上下逆転しますが、地元住民はこれとなくはしっかりこないのです。道案内の時にも「その道を上(下る)」というように富士山中心に説明します。観光案内の地図も吉田のうどん店を紹介するうどんマップも市内循環バスの路線図も、ことごとく富士山が上に描かれています。

まだまだ紹介したいことはたくさんあるのですが、こんな一風変わった地図を片手にお気に入りのうどん店を見つけるもよし、富士山の絶景ビューポイントを探すもよし、皆さんも富士吉田を散策してみたいかがでしょうか。



吉田のうどんマップ
(一般財団法人 ふじよしだ観光振興サービス提供)

SI活動について

スチューデントインストラクター

歯学部歯学科 寺澤 晃 (名古屋高校出身)

昭和大学では、大学が学生に向けて募集するスチューデントインストラクター(以下SI)というボランティア活動を行っています。内容も多岐にわたります。大学が主催する講演会をはじめ、富士吉田近辺で行われるイベントのお手伝いなどがありました。こういった活動に興味があったため、私は多くのSIに参加させていただきました。

SIというと堅苦しいものをイメージするかもしれませんが、実際は楽しいものばかりでした。『富士登山競争』では富士山の大自然の中で救護活動のお手伝いをさせていただき、河口湖で行われた「ジャズフェスティバル」ではジャズを楽しみつつ、地域の方々とお話ができました。その後、SI以外でもお会いしたりする機会がありました。富士吉田での生活を充実させる良いきっかけになりました。また、SIの活動を通して、多くの友達や先生方との関係を築くことができました。大変な内容のものもありましたが、参加してよかったです。二次以降も積極的に参加していきたいと思っています。



食育について

ご入学おめでとうございます。ようこそ富士吉田キャンパスへ。

食堂 栄養士 天野 ひでみ、羽田 友里

初めて親元から離れる方が大半だと思います。寮生活に不安を抱き、食事のことも気になると思いますが安心して下さい。とにかく食堂へ食べに来て下さい。受け取って食事を済ませて、食器を集膳口へ片付けるだけです。皿洗いはありません(笑)

まだ慣れていない4月と、授業の合間で集中してしまう昼食時は混雑が予想されますが、慣れてくると2限終了後そのまま食堂へ向かう人、寮に戻って午後の授業の準備してから時間調整してくる人など分散傾向になります。先輩達の中には、食事を待つ時間が友達とのコミュニケーションの場として有効であったという意見もありました。

食育? 大学生になってまでと思われるかもしれませんが、「朝ごはんを食べるより寝ていたい」、「お腹がすいた時が食事の時間」、「一人で食事をとることが多い」、「スナック菓子やインスタント食品で食事をしたつもり」、そんな方はいませんか?

勉強も部活も遊びも何もかもを楽しみたい若い世代にこそ意識を傾けてほしいのが、普段からの食事。平成25年に「和食:日本の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化財へ登録されました。未来に残すべき財産として認められた日本の伝統的な食文化を次世代に伝えていくには、改めてその良さを知ることです。一汁三菜とは「ご飯」「汁」「おかず(主菜1品、副菜2品)」に「漬物」の組み合わせのことをいいます。富士吉田での食事は一汁三菜をベースに朝・昼・夕食をきちんと食べることによりバランスのとれた食生活を身につけることを目的とし、また配膳時の食事の作法なども学べ、自然教育園で収穫した野菜や地元食材の使用、行事食など皆さんに満足していたけような和洋折衷で飽きがない献立にしております。焼き魚は面倒臭いなんていわないでください。皆さんも幼稚園や小学生の頃はお魚を食べていたのではないのでしょうか? アレルギーの人に無理に食べさせる訳ではありません。「骨が面倒臭い、嫌いだから食べない」ではなく好き嫌いをこの機会に克服してみませんか? 「同じ釜の飯を食う」とは寝食を共にし、苦しいこと楽しいことを感じて過ごす、とても親しい間柄のことをいいます。自分自身の成長、まわりの人への思いやり、来年1月の退寮の時にはきっとたくさん得たものをお土産にできることでしょ。

富士吉田での全寮制共同生活は将来のチーム医療を担う医療人となるための第一歩です。医療人が不健康では説得力がありません。どのような状況下でも対応できるように体づくり、数年後には医療人、親となり後世に食事の大切さを伝えていけるよう、食を通じて皆さんの寮生活のサポートをお約束します。

国際交流について

そうだ、ポートランドへ行こう!

薬学部薬学科 小椋 七海 (広尾学園高等学校出身)

私は、昨年の8月4日から8月28日までのおよそ3週間、オレゴン州のポートランド州立大学への留学プログラムに参加しました。このサマープログラムには1年生25人が参加し、前半の2週間をホームステイ、後半の10日間を大学の学生寮で過ごしました。

休みの日以外は大学に通学し、午前中は英語の授業、午後は課外活動を行いました。課外活動では病院見学などのアメリカの医療を学べるものやラフティングやサッカー観戦を体験することができました。活動が終わったらホストファミリーの家に帰り、一緒に夕飯を作ったり、映画を見たり、各家庭それぞれで有意義な時間が過ごせると思っています。寮生活では休日には友達と海や動物園に行き、観光を楽しみました。

留学に行く前は留学に対し不安にでしたが、留学最終日には日本に帰りたくないと思えるくらい良い友達や先生方に巡り合えました。大学生になったこの機会に勇気をもった行動と判断をしてみることが大切だと思います。そうだ、ポートランドへ行こう!



新入生の皆さんを歓迎いたします

学校法人昭和大学 理事長 小口 勝司

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。この富士吉田校舎での全寮制教育は医系総合大学である本学における特色であり、医学部、歯学部、薬学部、保健医療学部の4学部の学生が共同して衣食住をともにします。共同生活を送ることで相手を思いやる心を育み、学部間交流を積極的に行い、意見交換の場としていただきたいと思えます。将来を担う人間性豊かな医療人となることを念頭に切磋琢磨する皆さんの努力は必ず実を結び、自身の糧となります。この経験がチーム医療の根底を学ぶよい体験となることを心よりお祈り申し上げます。

今年、本学は創立90年目を迎えました。創立者である上條秀介博士が掲げた「至誠一貫」の建学の精神のもと、社会に貢献する優れた医療人を育成してまいりました。昭和39年昭和大学富士吉田校舎を竣工して以来、この地に根つき平成27年には富士吉田市と地域の課題解決および活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与することを目的とした「包括的連携協力に関する協定」を締結し友好的な関係を築いております。また、平成28年には学生教育ならびに様々な競技大会を催すことができる富士吉田スクエアガーデンを竣工いたしました。本年には富士吉田校舎再整備計画の一貫として温泉の掘削を開始しエコキャンパスの実現に向けて稼働いたします。

本法人は盤石な財政基盤のもと、常に最新の設備で最高の教育を提供して参ります。ご父母の皆様におかれましても、ご理解ご協力をいただき共にお子様を医療人として大きく成長していく姿を見守っていただきたく存じます。最後になりましたが、富士吉田校舎の教職員、皆さんのご家族の協力のもと富士吉田校舎における新生活がスタートできますことを感謝申しあげてご挨拶とさせていただきます。

「医療人への基礎作りの場：富士吉田キャンパス」

富士吉田教育部長 久光 正

昭和大学1年生の皆さん、富士吉田キャンパスによるこそ。皆さんは将来、医療に携わることで社会に貢献することをめざし、本学に入学しました。本学の特徴は医療人になる基礎作りを富士吉田で1年間の学部混合全寮生活を通して行うことです。医療は「ひと」に施すものです。それぞれの患者さんは異なる歴史、生活、習慣により築き上げた異なる人生を歩んでいます。これらの人々に対応するには皆さんがしっかりと医療人マインドをもたなくてはなりません。挨拶、礼儀、作法、思いやり、遵法精神、対話力などの上に医療の知識や技術を積み上げていくのです。

昭和46年、今から47年前に私も富士吉田で1年間を過ごしました。当時は医学部と薬学部の2学部でした。男子は8人部屋で両学部4名ずつ、2段ベッド4つの寝室と8つの机がある勉強部屋で寝食を共にしました。その時の1年間で私たちは精神的に大きく成長したことを今、確信しています。その成長のきっかけは、友人達との対話でした。政治・恋愛・趣味、いろいろな話題について、深夜まで語り合ったことを覚えています。皆さんも、友人と大いに議論して心を鍛えていただきたいと思えます。

富士吉田の1年は皆さんの医療人としての人生の貴重な第一歩です。大いに羽ばたいてください。

広報誌名称について

全寮制を特徴とする富士吉田校舎学生寮は「白樺寮(男子寮)」「百合寮(女子寮)」の二寮からスタートしました。「赤松寮」「すみれ寮」を加えて四寮となった現在も、白樺・百合という名称は受け継がれています。この名を冠した「白樺・百合」という広報誌の名称には、過去・現在・未来の学生たちが日ごとに成長をとりて前進しつつも、常に初心を忘れず、伝統を受け継いでくれることへの願いが込められています。

大学では学生の国際交流を推進するため、海外実習・研修補助制度を設けて積極的に支援しています。

講義について

富士吉田ならではの講義

医学部医学科 唐 アリス (東京女学館高等学校出身)



昭和大学富士吉田キャンパスでは、主に月曜と金曜が四学部合同で、火曜から木曜までは学部ごとに授業が行われています。四学部合同のPBLでは、コミュニケーション能力を高められるだけでなく、医療人として

様々な観点からの考え方を学ぶことができます。同じテーマについて話している学部が違っていると着目する点が異なり、そういう考えもあるのかと刺激を受けることも多々ありました。四学部合同で行われる授業があるのは昭和大学の寮生活ならではのとても良い経験であり、学部の垣根を越えてたくさんの人と交流できる貴重な機会です。

大学での授業は今までの受け身の授業ではなく自主的な学習が求められます。授業でわからなかったことや、もっと知りたいと思ったことは積極的に先生方に質問してみてください。富士吉田の先生方はとても丁寧に対応くださり、勉強以外のことも相談することができます。富士吉田での生活はあつという間なのでたくさん思い出を作って充実した一年間にしてください。



イベントについて

吉田の青春を創る!イベント部門!!

医学部医学科 大島 研 (國學院大學久我山高等学校出身)

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます!待ちに待った大学生活が始まりましたね。しかし、富士吉田での寮生活は皆さんが一般に思い描く大学生活とは大きく異なるものだと思います。理由はいろいろとありますが、です。しかし、こんな特殊環境下だからこそ経験できるものがある。味わえる青春がある、と私は考えます。

富士吉田キャンパスにはたくさんの行事があることはご存知ですか?中でも特に大きなものが寮祭とクリスマスパーティです。その行事につきものはイベント。イベントを取り仕切り、みんなにエンターテインメントを提供するのがイベント部門です。様々な企画を計画、そして実行!自分たちが考えた企画が吉田に笑顔と青春をもたらすことができます。くう~楽しそうですね!

さらに、イベント部門長になると業者さんとの対応などがあり一つ大人になれますよ!そして何より目立ちます。「あの人、仕事できてなんだかっこいいよね~。今度遊びに誘ってみようかな!」なーんて噂されること間違いなし。

興味があったらやってみる、が吉田を楽しく過ごすコツです!



実習について

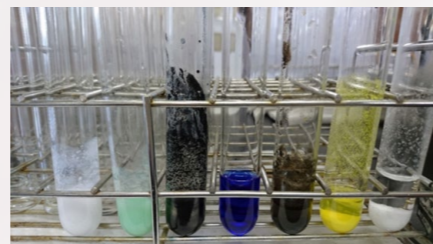
富士吉田キャンパスでの多様な実習

薬学部薬学科 平井 みのり (日出学園高等学校出身)

富士吉田キャンパスでは、4学部合同で行う基礎的な実習から学部別で行う専門的な実習まで、様々な実習がカリキュラムに含まれており、例えば薬学部ではアスピリンの合成や漢方薬の調製、ラットの解剖などを行います。

また、9月に行われる「初年次体験実習」では、施設実習や病院実習、学部別実習が行われます。この期間中は、朝早くに学外の実習先へ出発しなければいけないことや、帰寮時間が遅くなることで部屋メン(寮の同室メンバー)と生活リズムがずれてしまったり、帰寮した後も提出物を作成しなければいけなかったりと、忙しい日々を送ることになりますが、その分、期間が終わったときに得られる達成感も大きくなります。特に施設実習と病院実習では、4学部合同でグループが組まれるため、他学部との交流を深めることができ、実習班のメンバーと意見交換をする中で新たに得られることも多いため、専門的な知識を学ぶだけでなく人としても成長することができます。

大変なこともありますが、富士吉田ならではの生活を楽しんでください!



富士吉田での部活動

好きなだけ部活動に参加を!

保険医療学部看護学科 保坂 彩音 (玉川聖学院高等部出身)



昭和大学には多くの部活があり、1年生が在寮する富士吉田キャンパスでも活発に行われています。富士吉田では、体育系の部活の代表「体連部長」と、文化系の部活の代表「文連部長」の2人が中心になって、各部活の代表者をまとめます。私は1年間文連部長を務めました。体連部長と文連部長は中央委員会に所属することになり、毎月開催される合同委員会で、学生が決めた部活動の予算や決算、部活に関する学生からの要望を先生方に伝え、合同委員会で決まった内容や先生方からいただいたご指摘などを各部活の代表者に連絡します。

さて、1年生の間は好きなだけ部活動に参加できます!私は5つに参加し、人によっては7つ8つ、10以上に参加している学生もいました。部活に参加すれば学部内はもちろんのこと、他学部の友達も多くできます。1年しかない富士吉田での寮生活をどのように過ごすかは皆さん次第です。是非部活に参加して楽しく過ごしてください!

学生会について

学生が自ら作る富士吉田生活

歯学部歯学科 中村 萌 (田園調布雙葉学園出身)

中学・高校時代の生徒会に相当する組織が富士吉田校舎にも学生会という形で存在します。学生会とは、中央委員会を中心として、代議員会や監査委員会などで構成され、学生主体の学生生活を支える上で重要な役割を担う組織です。私は、昨年度歯学部の代議員を務めましたので、ここでは中央委員長・寮長・代議員・部活動の代表の計11名で構成される中央委員会についてお話しします。月に1度、合同委員会と呼ばれる会議に出席し、先生方と学生生活についての討議を行うことや、学生からの要望を伝えることが主な活動内容です。また寮祭などの行事の中心メンバーとなりイベント作りを行います。さらに代議員は教育委員の職も兼任しています。勉学の面での要望や講義についての学生全体の意見をまとめ、会議で発信することで、先生方が検討してくださり、富士吉田校舎での学習環境がより良いものになり、質の良い学習を行うことができるようになります。

このように、学生会は富士吉田校舎において欠かせない組織です。そのため責任は重いですが、学生会のメンバーになられた方は誇りと自信を持って、ひと味違う吉田生活を楽しんでください!



部活動について

馬のいるキャンパスライフ

薬学部薬学科 川上 奏音 (新潟県立佐渡中等教育学校出身)



私は馬術部に所属しています。見ての通り、馬に乗る部活です。乗るだけでなく、ご飯をあげたり馬房(馬の住んでいる部屋)を掃除したりなどの世話もします。馬はキャンパスから15分くらい歩いた先にある厩舎で生活しています。どの馬も個性が強く、接するほどおもしろみが増します。先輩方は平日に富士吉田へ来ることができないので、普段の馬の世話は1年生だけで行います。

この1年間の活動で学んだことは多々ありますが、特に仲間がいることのありがたさを痛感しました。馬の面倒を見るということは生半かな気持ちではできないことでも、欠かすことのできない作業がたくさんあるので身体的にも精神的にも疲れます。しかし、仕事を分担・協力でき、お互いの成長のために本音で話し合うことができる仲間がいたおかげで、私は今なお活動できるのだと思います。

どの部活に入っても、仲間と呼べる人がいると日々の生活が楽しくなります。新しいコミュニティの構築という点でも、ぜひ部活動に入ってください。



寮生活について

LET'S ENJOY YOSHIDA LIFE

医学部医学科 武山 司 (慶應義塾高等学校出身)



みなさん、ご入学おめでとうございます。

1年間の寮生活、期待と不安に満ちていることと思います。突然ですが、皆さんは大学生活に何を求めていますか?大都会でのキャンパスライフ、夜中までクラブでどんちゃん騒ぎ(私の勝手なイメージです)と思いつくことは多々ありますが、現実を見ましょう。

ここは富士吉田です。入学式が終わると同時にバスで寮まで届けられて、降りればそこは山に囲まれた大自然の中。

こんな場所で1年間も暮らせるか私も初めはそう思いました。しかし、寮生活が始まってみれば、明るいうちは、思うままにいろんな部活に参加でき、門限の後は寮の仲間と夜更かして勉強したり、朝まで語り合ったり...共に学び、共に生活するということで、自立心が身につく、他の大学の1年生よりも横のつながりが密になります。これは寮生活でしか味わえない貴重な経験なので、たくさんの友達を作って、時間の許す限り、寮生活ならではの濃い1年を満喫してください!

これは寮生活でしか味わえない貴重な経験なので、たくさんの友達を作って、時間の許す限り、寮生活ならではの濃い1年を満喫してください!

こんな場所で1年間も暮らせるか私も初めはそう思いました。しかし、寮生活が始まってみれば、明るいうちは、思うままにいろんな部活に参加でき、門限の後は寮の仲間と夜更かして勉強したり、朝まで語り合ったり...共に学び、共に生活するということで、自立心が身につく、他の大学の1年生よりも横のつながりが密になります。これは寮生活でしか味わえない貴重な経験なので、たくさんの友達を作って、時間の許す限り、寮生活ならではの濃い1年を満喫してください!



コンパについて

他学部との交流

保健医療学部看護学科 笠井 理子 (神奈川県立麻溝台高校)

一年間の寮生活を経験し、一番一緒に過ごすことが多かった部屋メンやコンパがどういふものかについて少し説明します。コンパとは、入学当初から学校でメンバーが決まっている20人前後のグループに一人の指導担任が付くものです。コンパ内には医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部の学生がいるため入学初期から他学部の人と関わるすることができます。コンパでの一番の思い出はバーベキューです。先生も一緒にたくさんのお肉やスイーツを焼き楽しみました。その後小学生の頃に戻ったかのように水鉄砲や水風船で遊び、びしょびしょになり6月に冷たい風に凍えながら寮に戻ったことを覚えています。遊びだけではなく、テスト期間にはわからないことや情報を共有し合い全学部で乗り越えたこともわたしのコンパの良さだと思います。



肉やスイーツを焼き楽しみました。その後小学生の頃に戻ったかのように水鉄砲や水風船で遊び、びしょびしょになり6月に冷たい風に凍えながら寮に戻ったことを覚えています。遊びだけではなく、テスト期間にはわからないことや情報を共有し合い全学部で乗り越えたこともわたしのコンパの良さだと思います。

次に部屋メンについてです。部屋メンとは学校側が決めた4人のグループであり、寝室や学習室を共有し一番近くにいる存在です。私の部屋は奇跡的にすべての学部がそろっている部屋でした。そのため普段から他学部の勉強内容を知るとともに刺激し合うことができました。休日には河口湖の散策、退寮後にはお泊りディズにーに行くほど仲のいいいい関係を築くことができました。

